

「全鍍連」 2022年 12月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際委員 古塚 恵太郎 (近畿防蝕(株) 代表取締役)

「最近考えている事」



先日ある勉強会に参加した所、ファミリービジネスにおける事業承継について興味深い話がありましたのでご紹介します。わが社においてもそうでしたが、親子、親族間で行われる場合、場当たりの感情的な事になりがちではないかと思えます。

そこで一番大事な事は、関係者が、事業承継はファミリービジネスにおいて最大のプロジェクトであり、非常に困難な事を乗り越えてやっと達成される、という認識を共有するという事でした。

お互いに感謝の気持ちを持って、相手の立場を考え、コミュニケーションを繰り返して行うという事でした。わが社においてもこういう事を先代と共有した上で事に当たれば、もう少し良い形で事業承継が出来たのではないかと思います。

そんな事を色々と考えておりますと、これまでは会社を引き継ぐという意識が強かったのですが、現在においては、自分の後継者を考えなければならないという現実気が付きました。

現在54歳ですので、70歳で社長交代と考えても約15年で後継者を育てないといけない。何か特別な事情があれば更に時間は短くなるかもしれない。

先代の時代は、兄弟3人が会社に関わっていましたが、現在ファミリーメンバーは私ひとりです。一人息子がおりますが、事業承継を考えると甚だ危険です。

今後の重要な経営課題として取り組まなければならないです。

まずは、会社が継続する事が大前提です。社会的に価値があり、従業員にとっても誇りが持てる、魅力的な会社にならなければなりません。

社員教育を充実させ、リーダーを育成する。理想的には経営者目線に近い考え方の出来る人材育成が必要です。また、最近では大手企業などで副業が認められてきており、外部人材として受け入れながら、幹部として育成していくような事も考えられるかもしれません。

3代目としてファミリービジネスを引き継いだ者として、預かった事業を次代に引き継ぐという役割果たすべく、今後精進していきたいと思えます。